

第 20 回富士山世界文化遺産学術委員会における主な意見
(2月14日開催)

(報告 1) 新型コロナウイルス感染症影響調査について

今回の新型コロナウイルス感染症影響の結果を踏まえて、より詳細な分析をしていく必要がある。

(報告 2) 富士スバルライン洞門等の整備について

構成資産の範囲内での開発行為となるため、洞門整備の必要性をしっかりと整理してもらいたい。

(議事 1) 来訪者管理計画の見直し検討体制及びスケジュールについて

特に意見はなく、事務局案どおり了承された。